



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <https://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 晴信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 敏宏 TEL 052-204-3050

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無（当社ウェブサイトにて決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	118,680	2.5	680	△41.0	943	△32.3	764	180.7
2023年3月期第2四半期	115,821	21.1	1,153	△61.6	1,394	△56.7	272	△87.9

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 2,202百万円（4,028.1%） 2023年3月期第2四半期 53百万円（△97.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	25.87	—
2023年3月期第2四半期	9.20	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	102,053	63,114	61.6
2023年3月期	97,595	61,410	62.7

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 62,873百万円 2023年3月期 61,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	△3.1	1,900	13.7	2,200	6.3	1,500	81.2	50.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	30,371,908株	2023年3月期	30,371,908株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	810,566株	2023年3月期	824,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	29,553,438株	2023年3月期2Q	29,584,022株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限の緩和や雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調にあります。一方で、円安の進行や資源・エネルギー価格の高騰による物価の上昇、世界的な金融引締めによる影響や中国景気の減速懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

飼料業界におきましては、外国為替相場が円安基調で推移したものの、昨年夏から上昇基調にあった主原料のとうもろこし価格が年明け以降下落基調に転じたため、原材料価格は低下しております。このような状況を反映して、当社は4月及び7月に配合飼料価格を値下げしました。また、飼料メーカーが負担する飼料価格安定基金負担金単価の高止まりや、過去最大規模で広がった鳥インフルエンザの影響による採卵鶏用飼料の流通量減少など、厳しい事業環境は続いております。

このような状況のなか、当社グループは飼料セグメントの収益力向上と規模拡大、その他セグメントの事業成長の加速、成長する収益基盤を支えるサステナビリティ経営の推進の3つの基本戦略を基に、強固な収益基盤の構築に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,186億80百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益6億80百万円（前年同期比41.0%減）、経常利益9億43百万円（前年同期比32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億64百万円（前年同期比180.7%増）となりました。経常利益が減益だったものの親会社株主に帰属する四半期純利益が増益だった主な要因は、固定資産売却益が増加したことや前期に特別損失に計上した貸倒引当金繰入額がなくなったためであります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、畜産飼料販売量が前年同期を下回ったものの、平均販売価格が上回ったため、前年同期比2.2%増の1,117億89百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比13.6倍の9億79百万円となりました。畜産飼料は、養鶏用飼料の販売量減少や電力費をはじめとする物価上昇による製造コストの増加があったものの、原料ポジション改善による利益率向上や貸倒引当金繰入額の減少などにより、増益となりました。また、水産飼料は、販売量が減少したものの主原料の魚粉価格高騰を上回る値上げや新製品の投入などにより、業績が向上しました。

(その他)

売上高は、前年同期比7.3%増の68億91百万円、セグメント利益は、前年同期比44.7%減の2億45百万円となりました。鶏卵販売は、卵価高を受け増収となったものの、量販向けの販売が伸び悩み減益となりました。肥料及び畜産用機器は、販売が前年同期を大幅に下回り、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44億58百万円増加の1,020億53百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加42億77百万円、建物及び構築物の増加11億42百万円、投資有価証券の増加16億75百万円、原材料及び貯蔵品の減少16億49百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ27億55百万円増加の389億39百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加18億67百万円、長期借入金の増加5億70百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の減少14億53百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ17億3百万円増加の631億14百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加2億62百万円、その他有価証券評価差額金の増加11億62百万円であり、純資産の増加率を総資産の増加率が上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント低下の61.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、17億58百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の減少は1億94百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は30億5百万円（前年同期は60億54百万円の資金使用）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益10億7百万円、減価償却費13億86百万円、棚卸資産の減少19億47百万円、仕入債務の増加22億2百万円であります。一方、主な資金使用の要因は、売上債権の増加40億16百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18億26百万円（前年同期比6億61百万円減少）となりました。主な資金使用の要因は固定資産の取得による支出19億50百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は13億84百万円（前年同期は55億79百万円の資金獲得）となりました。主な資金使用の要因は借入金の減少が純額で8億83百万円、配当金の支払額5億1百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月8日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,963	1,768
受取手形及び売掛金	44,616	48,894
商品及び製品	3,324	3,087
仕掛品	772	716
原材料及び貯蔵品	13,119	11,470
その他	3,242	3,137
貸倒引当金	△428	△374
流動資産合計	66,610	68,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,672	9,815
機械装置及び運搬具(純額)	6,550	6,581
工具、器具及び備品(純額)	1,130	1,183
土地	7,049	7,046
建設仮勘定	1,198	818
有形固定資産合計	24,602	25,445
無形固定資産	512	447
投資その他の資産		
投資有価証券	4,843	6,518
その他	2,148	2,063
貸倒引当金	△1,122	△1,121
投資その他の資産合計	5,869	7,460
固定資産合計	30,984	33,353
資産合計	97,595	102,053

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,714	19,581
短期借入金	6,363	4,831
1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,924
未払法人税等	101	292
賞与引当金	380	556
役員賞与引当金	27	8
その他	2,473	3,169
流動負債合計	28,907	30,365
固定負債		
長期借入金	4,160	4,730
退職給付に係る負債	535	537
資産除去債務	71	71
その他	2,509	3,235
固定負債合計	7,276	8,574
負債合計	36,184	38,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,325	4,312
利益剰余金	51,791	52,053
自己株式	△966	△949
株主資本合計	59,887	60,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,201	2,363
繰延ヘッジ損益	△31	218
為替換算調整勘定	56	84
退職給付に係る調整累計額	66	54
その他の包括利益累計額合計	1,293	2,721
非支配株主持分	230	240
純資産合計	61,410	63,114
負債純資産合計	97,595	102,053

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	115,821	118,680
売上原価	108,953	111,856
売上総利益	6,867	6,824
販売費及び一般管理費	5,713	6,143
営業利益	1,153	680
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	129	136
持分法による投資利益	38	59
貸倒引当金戻入額	0	0
債務保証損失引当金戻入額	10	—
その他	76	89
営業外収益合計	258	286
営業外費用		
支払利息	14	23
その他	2	0
営業外費用合計	17	23
経常利益	1,394	943
特別利益		
固定資産売却益	3	65
特別利益合計	3	65
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
投資有価証券評価損	—	0
貸倒引当金繰入額	1,040	—
特別損失合計	1,043	1
税金等調整前四半期純利益	353	1,007
法人税、住民税及び事業税	418	274
法人税等調整額	△340	△39
法人税等合計	77	235
四半期純利益	276	771
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	272	764

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	276	771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△268	1,162
繰延ヘッジ損益	△1	249
為替換算調整勘定	40	17
退職給付に係る調整額	△16	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	22	13
その他の包括利益合計	△222	1,430
四半期包括利益	53	2,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43	2,192
非支配株主に係る四半期包括利益	10	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	353	1,007
減価償却費	1,444	1,386
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9	175
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28	△19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,145	△55
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△6	△11
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	—
受取利息及び受取配当金	△131	△137
支払利息	14	23
為替差損益 (△は益)	△8	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△59
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	0
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△64
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,044	△4,016
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,329	1,947
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,686	2,202
その他	399	527
小計	△5,542	2,896
利息及び配当金の受取額	131	137
持分法適用会社からの配当金の受取額	109	96
利息の支払額	△15	△23
法人税等の支払額	△737	△101
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,054	3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△0	△0
固定資産の取得による支出	△2,190	△1,950
固定資産の売却による収入	15	82
貸付けによる支出	△300	—
貸付金の回収による収入	0	50
その他の支出	△16	△13
その他の収入	3	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,487	△1,826

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,100	△1,531
長期借入れによる収入	1,600	1,600
長期借入金の返済による支出	△1,615	△951
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△505	△501
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,579	△1,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,938	△194
現金及び現金同等物の期首残高	4,741	1,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,803	1,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	109,400	109,400	6,420	115,821	—	115,821
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	21	21	△21	—
計	109,400	109,400	6,442	115,843	△21	115,821
セグメント利益	72	72	444	516	△162	353

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△553百万円、金融収支515百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	計				
売上高						
外部顧客への売上高	111,789	111,789	6,891	118,680	—	118,680
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	12	12	△12	—
計	111,789	111,789	6,903	118,693	△12	118,680
セグメント利益	979	979	245	1,225	△218	1,007

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器、鶏卵事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△672百万円、金融収支513百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(連結子会社株式の売却)

当社は、2023年10月18日開催の取締役会決議により、当社連結子会社であるみらい飼料株式会社（以下、「みらい飼料」といいます。）の普通株式の一部を伊藤忠飼料株式会社（以下、「伊藤忠飼料」といいます。）に譲渡することとなりました。なお、本株式譲渡に伴い、みらい飼料は当社の連結の範囲から除外され、持分法適用の範囲に含まれることとなります。

1. 株式売却の理由

当社は、2021年5月20日付けで公表の「伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社との資本提携の解消及び業務提携の変更、並びに子会社(孫会社)の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」のとおり、伊藤忠商事株式会社（以下、「伊藤忠商事」といいます。）と伊藤忠飼料との間の資本提携を解消し、伊藤忠飼料との共同生産事業の対象をみらい飼料の八戸工場1か所に変更いたしました。これに伴い、当社及び伊藤忠飼料は、それぞれ2023年9月末日以降、当社保有のみらい飼料の普通株式の全てを伊藤忠飼料へ譲渡する方法で共同生産事業を解消することができる権利を有することとなりました。

当社は、当社八戸工場において必要な生産能力を十分整備するために増産投資を行うとともに、みらい飼料八戸工場において伊藤忠飼料との共同生産事業を継続し、当社の八戸地域のお客様への飼料安定供給を図ってまいりました。

共同生産事業の解消可能日が迫るなか、当社は、コロナ禍の影響で当社八戸工場の生産能力の整備がまだ十分でないことから、伊藤忠商事及び伊藤忠飼料と今後のみらい飼料に関する協議を行ってまいりました。その結果、このたび当社保有のみらい飼料の普通株式2.0%を伊藤忠飼料へ譲渡し、共同生産事業（社名はみらい飼料のまま）を継続することで合意に至りました。

2. 売却する相手先の名称

伊藤忠飼料

3. 売却の時期

2024年1月1日（予定）

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

(1) 名称 みらい飼料

(2) 事業内容 配合飼料の製造

(3) 取引内容 当社が資金を貸し付け、飼料原料を供給しております。また、みらい飼料は当社へ配合飼料を供給しております。

5. 売却する株式の数、売却価額及び売却後の持分比率

(1) 売却する株式の数 10株

(2) 売却価額 6百万円（概算額）

(3) 売却後の持分比率 49%

6. 業績に与える影響

本株式譲渡に伴う当社連結業績に与える影響は軽微であります。